

第3次健康食育あつぎプランの改定方針について（案）

計画の概要

〈計画の趣旨〉

『生涯現役健康都市』の実現を目指し、健康増進計画と食育推進計画を一体的に策定した「第2次健康食育あつぎプラン」の計画年度の終了に伴い、新たに「第3次健康食育あつぎプラン」を策定し、より充実した健康増進事業等による健康寿命の延伸、食育の更なる推進を図ります。

〈計画の期間〉

令和3年度から令和7年度までの5年間



〈計画の策定体制〉

計画の前提となるニーズを把握するための意識調査（アンケート）については、令和元年度に実施した中間評価結果を使用するほか、策定協議機関である「厚木市健康食育推進協議会」の意見、部内プロジェクトチーム等の意見を踏まえ、方針及び計画素案を立案してまいります。また、市民から計画素案の意見を募集するパブリック・コメントを実施します。

市民の健康を取り巻く状況

〈人口〉

本市の人口は224,677人（令和元年10月1日人口統計）
令和7年には219,445人と推計されています。（厚木市人口ビジョンの数値）

〈高齢化率の推移〉

本市の高齢者人口は56,888人で高齢化率25.3%（令和元年10月1日現在）
令和7年には59,020人で高齢化率26.9%と推計されています。

〈健康寿命の状況〉

神奈川県の高齢者人口は男性が72.30歳で全国16番目、女性が74.63歳で31番目となっています。（平成28年度）

※健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことで、平均寿命から日常生活に制限のある期間を除いたものです。

平成28年度（神奈川県）	男性	女性
健康寿命	72.30歳	74.63歳
平均寿命	81.64歳	87.46歳
健康寿命と平均寿命の比較	9.34歳	12.83歳

資料：健康寿命の全国推移の算定・評価に関する研究

計画の理念と基本目標の考え方

〈基本理念〉

健康増進計画

「健康で、自分らしい生き生きとした暮らしの実現に向けて、**住み慣れた地域**でそれぞれのライフステージに応じた健康づくりを進めよう」

食育推進計画

「食で広がるあつぎの未来 ～楽しく食べて、生きる力を育もう～」

〈基本目標〉

健康寿命の延伸、みんなで描く健幸生活

〈基本方針〉

- 1 生活習慣病の発症予防と重症化の予防
- 2 生涯にわたる食育の推進
- 3 生活習慣及び社会環境の改善
- 4 市民との協働による健康づくりの推進
- 5 **全世代が安心して暮らせる地域包括ケア社会の実現**

〈取組分野〉

〈現〉第2次健康食育あつぎプラン	〈新〉第3次健康食育あつぎプラン	新たな要素
1 生活習慣病・がん・認知症	1 生活習慣病の 予防	・受動喫煙の防止 ・プラステン運動 ・良質な睡眠の推進 ・フレイル対策 等
2 飲酒・喫煙	2 適正 飲酒・喫煙	
3 食の安全・安心	3 食の循環 ・食の安全	
4 食への感謝と地産地消	4 食文化の伝承 ・地産地消	
5 栄養・食生活	5 栄養・食生活	
6 身体活動・運動	6 身体活動・運動 習慣	
7 休養・こころの健康	7 休養・こころの健康	
8 歯・口腔の健康	8 歯・口腔の健康	

計画の展開

取組分野のライフステージ毎に課題として「みんなの願い」を設定し、本市の健康増進事業等の総合的な施策群として示します。

〈ライフステージ〉

乳幼児期、学童期・思春期、成人期（青年期、壮年期、高年期）

計画の推進

第3次健康食育あつぎプランの趣旨や内容を市民に広く理解してもらうために、広報活動や啓発活動を展開していきます。

市民の健康意識がどのように変化しているかを把握する方法として「実態調査」を実施するとともに、人口動態統計、各種健康診査結果などを分析し、計画期間の最終年度の前年に、目標の達成度を評価します。

関係機関、関係団体と連携し、「健康寿命の延伸、みんなで描く健幸生活」を目指して計画を推進します。